

## 天野明弘名誉教授の思い出

八頭司 彰久

私は、1999年1月の初詣で中山寺に出かけた際、母校である関西学院大学の総合政策学部に大学院ができ、一期生を募集していることを駅の広告で知りました。以前から大学院に通いたいと考えており、突如、進学したいという気持ちが湧いてきました。しかし、卒業してから24年経っていましたので、不安も多く極めて困難な選択のようにも思えました。私の夢は面接の時にもお話ししておりましたが、ただ漠然と大学の講師になりたいというものでした。社会学部を卒業後、京都銀行に就職し、その後、自分の力を試そうと脱サラし保険代理業を株式会社組織で長年勤めてきたのになぜかと思いつつ、おかげさまで合格させて頂き、その夢は一步前進しました。合格当時、学部長をされていたのも天野明弘先生ですから、私の現在があるのは天野先生のおかげといえます。最初の研究計画は、中小企業の問題の研究でした。社会学部時代にお世話になった遠藤惣一名誉教授が総合政策学部におられたので、相談すると即座に天野先生をご紹介頂きました。ゼミ生になったので、金世徳先生に紹介して頂き挨拶に出かけました。天野先生には政策研究総論、課題研究の持続可能社会とエコロジー政策、ゼミでお世話になりました。この間、私は損害保険業界のISO14001認証取得、紙使用量や電力の削減などの取り組みを研究していました。今から振り返るととんでもない、ちんぷんかんぷんな研究だったように思います。天野先生もそれを指摘されたいのですが社会人なので少し遠慮されていたように思えます。1999年秋学期より天野先生に私の所属する損害保険業界が環境問題と密接に関係していることが最も重要なテーマであるとお教え頂き、ここで、私

の研究テーマが明確に決まり、以来、「環境問題と損害保険業界」という修士論文のテーマに基づいて研究を進めました。その後も様々な外部講演や講習などを通じてお目にかかり、ご指導頂きました。2000年冬に修士論文のご指導を受けにまいりますと、参考文献の作法や論文の書き方などいつもの気さくで温かな天野先生とは違ってこの時は、学問に大変厳しい天野先生にお目にかかりました。また、最終打ち合わせの時には、やさしい天野先生にもお目にかかることができました。私は、大学院博士後期課程を目指していましたので、天野先生には特別に推薦書(結局、この大学院は受験しませんでした)を書いて頂いたり講師の推薦書を書いて頂いたりもしました。年に一度のリサーチ・コンソーシアムでもお会いしお話しするのが楽しみでした。天野先生には、毎年、殊の外、気にかけて頂きました。その際、一度だけ、天野先生のような偉大な先生が、気さくに、「私も以前、保険の研究をしようとした時期がありました。が、保険は統計学の勉強などが大変なのでやめました」とおっしゃられたことが、今でも印象に残っています。病床につかれていた際にも私に対する推薦書が気になられ、講師の推薦をどこにするかなど尋ねてきて頂きました。その後、日本初のリスク研究の博士後期課程である滋賀大学大学院経済学研究科経済経営リスク専攻一期生に運よく合格しました。幸いなことに私に適した大学院ができたのです。この際の指導教授は、天野先生の神戸大学大学院後輩、ロチェスター大学大学院の後輩にあられる酒井泰弘先生でしたので、天野先生は、とりわけ私がいつ博士を取得することができるかご心配を頂いたのです。滋賀大学大学院の入試に合格できましたのも優秀で立派な先生にご指導を受けた学生なので、優秀なはずであるという評価を頂いたからです。博士論文のテーマは「保険による環境リスク管理の有効性に関する研究」で、博士(経済学)の学位を取

得することができました。現在、2つの大学で教育者、研究者としての仲間入りを果たしております。総合政策研究科以来、環境問題と損害保険との密接なかかわりを研究することができましたのもひとえに天野先生のご指導の賜物とお礼申し上げます。2010年3月25日黄泉に旅立たれましたが、2010年3月26日が博士学位授与式でしたため、大変失礼をしていました。心残りが1つあるとすれば、ご生前中に学位取得をご報告したかったということです。氣にかけて頂いていただけに残念で仕方がありません。お知らせできていれば、さぞかしお喜び頂けたことでしょう。2011年5月27日のラウンドテーブルの際に、奥さまにお目にかかりご生前中に賜りましたお礼を申し上げます。天野先生のご生前中に賜りましたご学恩にお礼申し上げ、多大なご功績に敬意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

#### 謝辞

『総合政策研究』、天野明弘先生追悼特別号におきまして、天野先生への思い出および感謝の気持ちを表す機会を与えて頂き執筆の機会を賜りましたことに改めましてありがたく厚くお礼申し上げます。

八頭司彰久(やとうじ あきひさ 大阪経済法科大学地域総合研究所 客員教授、関西学院大学大学院総合政策研究科博士前期課程修了)